

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		東大和市戦没者追悼事業費 [戦没者遺族支援事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業番号	16			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	福祉推進		課		庶務		係	課長名	嶋田 淳		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	5 - 4		
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立								総合計画書 (ページ)	113		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市遺族会会員				遺族会会員数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
戦没者を追悼することにより、残された遺族の方々に平和の尊さを再認識してもらう。				事業参加者/遺族会会員数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
恒久平和を願い、戦没者追悼式及び総会を行う。				事業数							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	97	91	90					
	成果指標	②の数値	%	69.1	71.4	0.0					
	目 標	②の目標値	%								
	目標値設定の考え方 残された遺族の方々に平和の尊さを認識してもらう。										
活動指標	③の数値	回	2	2	2						
3 経費	事業費(実績)		円	787,227	708,540	497,693	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	787,227	708,540	497,693					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	1,237,950	1,648,800	1,662,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	2,025,177	2,357,340	2,159,693						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化 高齢化による体力の低下等が見られ、総会や戦没者追悼式等の事業に参加する遺族が少なくなっている。 今年度は、台風接近により戦没者追悼式が中止となった。										

事業名称	東大和市戦没者追悼事業費 [戦没者遺族支援事業]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 嶋田 淳

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 遺族会の運営に係る費用は会員からの会費により賄われている。また、遺族の高齢化により会員が減っており、今後の会のつぎがない運営に支障が生じる可能性があることから、会員の拡大についての方法等の相談を受けている。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑧その他(事務局としての協力)			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 会員数の減が見込まれることから、会の運営や継続性について注視していく。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	10/1号の市報に会員募集の記事を載せた。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 今年度は戦没者追悼式が台風で中止になったが、地球温暖化により、今後も屋外の実施については天候に左右されると思われる。高齢者も多いことから、遺族会の意向も確認しつつ今後は屋内での実施も検討していきたい。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 地域を越えたパートナーシップの確立 ☐ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： 平和事業)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 遺族会の意向を確認の上、今後の方向性については決めていく。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	遺族会の意向をもとに、必要な調整を行っていく。				